



社会福祉法人
陽光会

幼保連携型認定こども園
しおやこども園

法人理念

個が尊重され、子の思いに寄り添い、孤をうまない

教育・保育理念

『自分らしく』 自分自身を大切に、自分以外に共感する

教育・保育方針

- ・集団生活の中で、子どもが、急かさされたり、無駄に長い時間待たされることなく、自分のテンポで、自分の生理的欲求、関心に合わせた生活ができるようにする。
- ・探求的な学習や体験活動をとおして、全ての子どもの可能性をひきだす。
- ・子どもが真ん中、保護者、職員、地域、関わる全ての人による、集団共同型子育てをする。

めざす子ども像

- ・健全な心身を持ち、自ら考え、自信を持って行動しようとする子ども
- ・自ら考えて主体的に行動し、思いやりのある子ども
- ・様々な事象に興味関心を持ち、豊かな感性・創造力・思考力を持って関わる子ども

乳児は、育児担当制をとりいれています。集団の中で一人ひとりの違いを認め、特定の大人とかわる（食事・排泄・着脱など）中で、子どもは愛着行動を示し、人に対する基本的信頼感を獲得していきます。

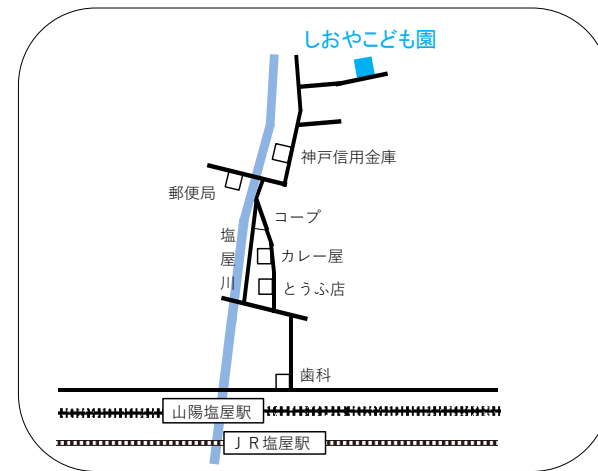
わらべうた

普段の生活の中で「わらべうた」をうたいます。乳児期は保育者と一対一で触れ合うことで信頼関係ができます。自然にリズム感が育ち、友達同士でわらべうたあそびができるようになると社会性や集団の中での振る舞い方や他人への思いやりにも繋がっていきます。

子育て支援

地域の就学前の親子向けに、「園庭開放」や親子で楽しく遊んだり親同士やグループなどで交流する場所として利用出来る「子育て広場・かんがるーぽけっと」、月に一度、専門の講師が行う「ベビータッチ&ベビー体操講座」は、生後2ヶ月から参加出来ます。気軽に参加して下さい。いつでも子育ての不安や悩みなどの相談をお受けしています。一緒に子育てを楽しみましょう！開催日等の詳しい内容はホームページをご覧ください。

所在地 神戸市垂水区塩屋町3-23-1
 電話番号 (078) 753-4334
 FAX (078) 753-7332
 ホームページ shioya-ho.jp
 開園時間 7:00~19:00
 定員 60名(2・3号認定)
 15名(1号認定)
 学級数 6クラス
 認定こども園認可日 平成29年4月1日



	1号認定こども	2・3号認定こども
対象児	3~5歳児	0~5歳児(保育の必要性を認定されたこども)
実施日	国民の休日及び年末年始(12/29~1/3)を除いた月曜日から金曜日 ※新年度準備のため3/31は休業日	国民の休日及び年末年始(12/29~1/3)を除いた月曜日から土曜日
実施時間	8:30~13:00	保育短時間認定:8時間(8:30~16:30) 保育標準時間認定:11時間(7:00~18:00)
預かり保育 延長保育	7:00~8:30 13:00~18:00(別途利用料)	保育短時間認定:7:00~8:30 16:30~19:00 保育標準時間認定:18:00~19:00(別途利用料)

保育料以外に必要な費用 (金額はおよその目安です)

項目	主な内容	金額
入園時に必要なもの	カラー帽子	1,060円
	氏名印	500円
	寝具バッグ	250円
	フェリカカード(保証金)※卒(退)園時に返金	300円
毎年必要なもの	日本スポーツ振興センター掛金	200円
	誕生日絵本	400円
毎月必要なもの	給食費(2号認定3~5歳児)	5,900円
	給食費(1号認定)	5,000円
	月刊絵本代	440円
都度徴収するもの	おたより帳(乳児用/幼児用) 園外保育の交通費	170円/80円 実費

*利用者に対する保険

- ・「独立行政法人日本スポーツ振興センター」の災害共済に園と家庭とで掛金を負担して加入し、治療費が給付される制度です。
- ・当園は「ほいくのほけん(セットプラン)」に加入しており、大きな事故の補償に備えています。

社会福祉法人 陽光会

「芽でるときに」

全ての子どもは一人ひとりに個性があります。一人ひとりが自分自身で伸びようとする種を持って生まれてきます。

今、大人になった私たちも子ども時代がありました。楽しかったことは何ですか？ドキドキした時ってどんな瞬間でしたか？そんな時々に芽は出ます。芽がでる瞬間を創る、待つ、仕掛ける。子どもたちと関わる大人たちは「させる」ではなく、「支える」ことを大切にしています。土の中でしっかり根をはり、やがて大きな木の幹となることを願いながら見守ります。



乳児の育児担当制

一人ひとりの子どもの育ちに合わせてさまざまな援助を行い、穏やかな雰囲気づくりを工夫しています。



自然とふれあう

自然の中で五感を育てながら保育者も子どもも夢中になれる遊び。自然体験を通して発見や感動体験となるような様々な工夫をしています。



主体的に遊ぶ

月齢や一人ひとりの興味に合わせてじっくり遊べる環境を整えています。



思い切り体を動かす

元気いっぱい園庭であそび回っている子どもたち。泥だらけになって何やら作る子ども、固定遊具で遊ぶ子ども、そして夢中になって虫を探している子ども。園庭のいたるところで、子どもたちは様々な活動を全身で取り組んでいます。

